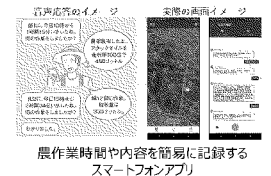


	方向性	主要施策	主な目標
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">生産性と持続性を両立した次世代農業の実現 基本方向1</p>	<p>○高度で効率的な生産・流通を可能とするデジタル技術の導入促進</p> <p>○脱炭素社会の実現に向け、農業生産においても環境負荷の軽減が重要</p> <p>○意欲ある農業経営体の規模拡大や国内外の競争を見据えた生産性・収益性の向上</p> <p>○U・Iターン者等の多様な人材の取り込みによる担い手や労働力の確保</p> <p>○多様化する消費者、顧客のニーズや行動変容に対応した国内外の販路拡大や需要に応じた生産・出荷体制の構築</p>	<p>(1) デジタル技術等を活用した農芸品の生産性向上</p> <p>【A O Iプロジェクト関連事業費】 476,513千円 環境負荷低減と生産性・収益性向上の両立に資する研究開発成果の創出に取り組みとともに、産学官金の連携による農業を軸とした関連産業のビジネス展開を推進</p> <p>【お茶関連事業費】 419,570千円 静岡茶を再生するため、オープンイノベーションによる新たな価値の創造や需要に応じた生産構造の転換等を促進</p> <p>【施設園芸大国しずおか構造改革緊急対策事業費助成】 187,000千円 認定農業者・認定新規就農者が行う鉄骨ハウス等の新設に対する助成</p> <p>【農業地域生産力強化整備事業費】 4,964,000千円 農業の高収益・低コスト化を図るため、茶・高収益作物・柑橘の「品目別基盤整備プロジェクト」を推進</p> <p>(2) 農業生産における環境負荷の軽減</p> <p>【農業における環境負荷低減推進事業費】 39,800千円 生産から消費まで一体となった推進体制を構築、環境への負荷低減技術の実証や化学肥料・農業低減技術の普及</p> <p>【持続的農業経営支援事業費助成（新規）】 100,000千円 農業経営体の維持・発展のため、生産の効率化等に寄与する農業用施設・設備の整備に対して助成</p> <p>【ふじのくにカーボンプレジット創出支援事業費（新規）】 27,000千円の内数 農業分野におけるカーボンプレジット制度の普及、活用等を支援</p> <p>(3) 次代を担う農業経営体の育成</p> <p>【新規就農者育成総合対策事業費助成】 749,451千円 就農研修資金、経営開始資金、経営発展の機械・施設等の導入、研修向け農場の整備等を支援</p> <p>【農を支える元気な担い手支援事業費】 26,700千円 就農相談や短期農業体験、非農家出身者等の自立就農の支援等に加え、副業として小規模な農業経営を始めるための技術研修や就農支援を実施</p> <p>【農林環境専門職大学関連事業費】 602,806千円 農林業経営及び生産に関する実践的な知識・技術を中心とした教育</p> <p>(4) 市場と生産が結びついた「ふじのくにマーケティング戦略」の推進</p> <p>【国内（首都圏等・山の洲）販路開拓関連事業費】 86,250千円 レタス生育予測アプリを活用した高精度の出荷情報と直送の実証実験等</p> <p>【海外開拓関連事業費】 338,920千円 輸出向けHACCP等対応施設の整備支援、大規模販売店を通じた輸出拡大等</p>	<p>【農業産出額】 2020年：1,887億円 (2021年：2,084億円) ⇒2025年：2,400億円</p> <p>【スマート農業技術を導入している重点支援経営体の割合】 2021年度：14.9% (2022年度：2023年3月公表予定) ⇒2025年度：55%</p> <p>【担い手の農地集積面積】 2020年度：26,512ha (2021年度：27,534ha) ⇒2025年度：30,481ha</p> <p>【品目別基盤整備プロジェクトの整備面積】 2021年度まで：累計754ha (2022年度：2023年3月公表予定) ⇒2025年度まで：累計1,659ha</p> <p>【有機農業の取組面積】 2020年度：418ha (2021年度：442ha) ⇒2025年度：620ha</p> <p>【持続可能な農業経営体数】 2019年：4,163経営体 (2020年：3,993経営体) ⇒2025年：4,400経営体</p> <p>【県産農林水産品の山の洲3県への流通金額】 2020年度：41億円 (2021年度：42億円) ⇒2025年度：50億円</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人々を惹きつける「都」づくりと持続可能な農山村の創造 基本方向2</p>	<p>○新たな生活様式を踏まえた農芸品(食、茶、花)の魅力発信と消費拡大</p> <p>○人々を惹きつける豊かな地域資源の新結合</p> <p>○地域内外の多様な主体との協働による地域資源やコミュニティの再生・創造</p> <p>○激甚化する自然災害に耐えうる生産基盤の強化</p>	<p>(1) 人々を惹きつける都づくり</p> <p>【「食の都」づくり推進事業費】 (関連事業含む) 63,500千円 ガストロノミー・ツーリズム推進・食文化の発信や認証制度の活用による需要の拡大等</p> <p>【お茶関連事業費（再掲）】 419,570千円 ふじのくに茶の都ミュージアムの運営、静岡茶の愛飲の推進</p> <p>【浜名湖花博20周年記念事業開催事業費】 727,800千円 浜名湖花博20周年に向けた記念事業の開催準備や、機運醸成のためのイベントを実施</p> <p>(2) 美しく活力のある農山村の創造</p> <p>【ふじのくに美しく品格のある邑づくり推進事業費】 32,800千円 農村と企業等の連携促進による農村の体制強化や農村インフラの強化を推進</p> <p>【鳥獣被害防止総合対策事業費助成】 209,000千円 市町計画に基づく鳥獣被害防止のための取組支援、人材育成、新技術の実証</p> <p>【グリーン・ツーリズム推進事業費】 4,600千円 農林漁家民宿の開業・運営、農泊地域の創出、体験型教育旅行の誘致促進を支援</p>	<p>【「バイ・シズオカ」「バイ・ふじのくに」「バイ・山の洲」の取組に参加した県民の割合】 2021年度：59% (2021年度：51%) ⇒2025年度：70%</p> <p>【ふじのくに美しく品格のある邑づくりの参画者数】 2020年度：73,058人 (2021年度：75,329人) ⇒2025年度：87,600人</p> <p>【鳥獣による農作物被害額】 2020年度：297百万円 (2021年度：240百万円) ⇒2025年度：270百万円</p> <p>【静岡県農林漁家民宿延べ宿泊者数】 2019年度：4,363人 (2020年度：1,754人) ⇒2025年度：5,000人</p>



プラットフォームを活用した多様な主体との連携を推進